



第13回

職場体験で、また一つ成長

「ワクワクWORK」

今年も、中学生職場体験事業「ワクワクWORK」を9月9日から同13日までの5日間、21事業所の協力のもと実施し、市内の中学生2年生860人が職場体験をしました。本年度の「ワクワクWORK」の様子をアンケートの結果を交えながら振り返ります。

問い合わせ先

中学生職場体験事業「ワクワクWORK」
実行委員会事務局（教育政策課）
☎(36) 5099

「働くこと」への意識付け・事前学習

各中学校では、1年生の時に将来の夢とそれに向かう進路、身近な人の職業について、調べ学習や発表をし、自分の適性について学びます。2年生になると、「ワクワクWORK」に向けた実践的な事前学習を実施します。



悪戦苦闘しながらマナーの実技講習に取り組む生徒たち

日には里中学校では7月8日、市内でフランス料理を営む友清順子先生を講師に招いて、職場体験

の心構えや社会人としてのマナーについて、実習を交えながら学びました。生徒たちは「中学生を受け入れてくれることに感謝」「中学生だから仕事で失敗してもよいわけではない」といった講義内容を真剣に聞き、職場体験に対する意識を高めました。

夏休み期間中に、通勤経路の確認など体験に向けた下調べ、9月初めには事業所を実際に訪問し、顔合わせや仕事内容、服装などの注意事項について打ち合わせて職場体験を迎えました。

市内の221事業所で職場体験

今年は、市内の221事業所に生徒を受け入れてもらいました。ショッピングセンターや商店、レストランなどのサービス業や、病院、介護施設などの医療施設、幼稚園や保育園、小学校などの教育機関、コミュニティ・センターや図書館などの公共機関、農業や漁業関係の事業所など、多岐にわたる職場体験でした。生徒は毎朝、自分で「通勤」して「仕事」をすることで、仕事の楽しさや喜びなどを体験



幼稚園の園児と触れ合う楽しさや喜びなどを体験

マナーの重要性や事業所の人、お客さん、地域の人たちとの交流の中で幅広い人間関係の大切さを学びました。

職場体験後に振り返る事後学習

職場体験後は、事業所へお礼の手紙を書いたり、職場で体験したこと、感じたことをまとめた壁新聞を作ったり文化祭で発表したりしました。玄海中学校では、10月25日、職場体験で協力し

しさや喜びなどを体験しました。

生徒たちは「いつもはお客さんとして行く店で働いたが、こんなにたくさん

の想像もしていなかった」「サッカー部で体力に自信があつたけれど、帰ったらすぐに寝てしまうくらい疲れた」など、普段は見ることのできない仕事の裏側にある苦労やつらさを、身をもって体験することができました。

また、社会でのあいさつ、マナーの重要性や事業所の人、お客さん、地域の人たちとの交流の中で幅広い人間関係の大切さを学びました。

アンケートから振り返る「ワクワクWORK」

市教育委員会では、「ワクワクWORK」体験後に生徒、保護者、事業所らへアンケートを実施しました。回答の一部を紹介いたします。



協力してもらった事業所や地域の人たちと意見交換する生徒たち

し、働くことについて考えることができました。「働くことはお金を得るためだけじゃない」「クラスでの係分担や家での手伝いも働くことになるのでは」などの意見が飛び交う中、体験前の課題の達成度を確認し、働くことの意義について、より深く考えることができました。

「これ誰かやってくれる？」と言われたときに、自分から「やります！」と言えた

●生徒の感想

▼恥ずかしがらずに発言することができた
▼希望する職業ではなかったけれど、この仕事も自分に向いているかもしれない
▼将来やってみたい職業を体験して、さらにこの職業に就きたいと思った

●保護者の意見

▼緊張感を持って取り組むことで、人格の成長も見られたと思う。この事業に協力された人たちに感謝していることも、会話の中から聞き取れた
▼与えられたことをするだけでなく、自分がどう工夫すればよいかを、とても楽しそうに考えながら取り組んでいた。受け身ではない体験ができて有意義な5日間だったようだ
▼言葉遣いが優しく丁寧

頼まれたことは「はい！」と大きな声で返事し、最後までやり遂げた



清掃工場で機械を操る生徒

▼あいさつなどのマナーもしっかりして、教える立場でありながら多くのことを中学生から学ばせてもらった
▼家の棟上げ体験をしたこと

になり、周囲に目を向けることができるようになった

▼一日中ほぼ立ちっぱなしという初めての経験で、毎日疲れ切つて帰ってきた。働くことができたようだ

▼「これ誰かやってくれる？」と言われたときに、自分から「やります！」と言えた

●事業所からの意見・感想

▼家庭や学校ではできないことが、企業ならできる部分もある。それを「大人」の責任として子どもたちにしてあげられることは良いことだと思ふ
▼働くことや学ぶことの意義を考え、目的意識をしっかりと持って進学・就職する若者を育てるには、学校や家庭だけでなく、地域のみなさんの理解と協力が必要です。事業所、地域のみなさん、今後もしっかりとお祈りします。ありがとうございます。

（食品製造業）

スーパーでは、店内放送もしました



スーパーでは、店内放送もしました

▼クリスマスが近づき、市内はイルミネーションでにぎやかになった。その温かく幻想的な光に、寒さを忘れて見入ってしまった
▼この光を見ると、今年もいろいろなことがあったなあと1年の出来事を思い出す
▼今年もあとわずか。たくさんイルミネーションを見て癒やされ、来年も元気に迎えます。

舞台裏

12月に入り、2013年も終わりに近づいてきた。今年は、夏が終わつてすぐ冬が来たかのようになり、毎年この季節になると、私は家族でインフルエンザの予防接種を受ける。みなさんも、年末年始のイベントに向けて予防接種を受け、楽しい年末年始を過ごしましょう。

先日、ふく給食の取材で訪れた南郷小学校でのひとコマ。特別講師が開催する授業のため、子どもたちは緊張気味。最後の質問コーナーだけ担任の先生が前に出て授業を進め始めた。とたん、クラス的气氛が一変。子どもたちの笑顔もほぐれ、普段の元気な様子が見え、先生と子どもたちの絆を見ることができた。

▼クリスマスが近づき、市内はイルミネーションでにぎやかになった。その温かく幻想的な光に、寒さを忘れて見入ってしまった
▼この光を見ると、今年もいろいろなことがあったなあと1年の出来事を思い出す
▼今年もあとわずか。たくさんイルミネーションを見て癒やされ、来年も元気に迎えます。